



大阪維新 プログラム

府民生活、子どもと教育 切り捨てねらう橋下「行革」

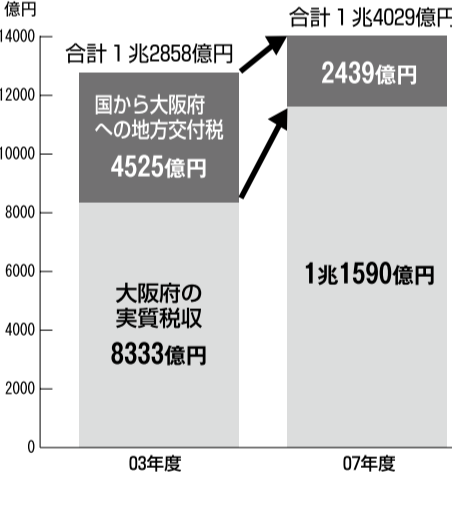
大阪維新プログラム 府民へ痛みを強いる一方で ムダな大型開発は“聖域”

大阪府に5兆円もの借金ができた主な原因は、歴代の府政が国・財界の言い分を一番に聞いて、大型開発を優先する政治を続けてきたことにあります。関空2期工事に1140億円、りんくうタウンに1789億円、国際文化公園都市に312億円の税金をつぎこみ、借金をふくれあげさせてきました。しかし橋下知事は府民に痛みを強いる一方で、「横尾川ダムも安威川ダムも事業は妥当」(08年6月11日)と言うなど、ムダな大型開発は“聖域”にしています。

「継続」とした主な事業	
箕面森町	160億円
安威川ダム	390億円
新名神連絡道路	471億円

橋下知事 国にはものを言わず
また大阪府が赤字をつつたもう一つの原因は、国が地方自治体への財源を削ってきたことです。大阪府に対する交付税は4年で2000億円以上も減らされてきました。しかし橋下知事は「まずは府の努力」と言い、国への毅然とした態度をとろうとしています。

4年間で2000億円以上 減らされた国の交付税



「地域ニーズに応じた独自サービスを見直し、国から義務づけられた仕事は無条件で受け入れている…負の連鎖に陥るおそれがある」(東京大学大学院教授 神野直彦さん「朝日」6月6日)

「国の直轄事業は府の負担も大きい、削減対象になっていない。…結局は、従来型の延長になっている。強い人にものを言わないでは改革はできない」(前鳥取県知事 片山善博さん「毎日」6月6日)



大阪府は、府立学校で働く非常勤職員を、年収100万円、昇給やボーナスもないという劣悪な条件のもとで、劣悪な労働条件で、現場での喜びを奪いつつ来ています。

橋下維新プログラム案は、府立学校で働く非常勤職員を、年収100万円、昇給やボーナスもないという劣悪な条件のもとで、劣悪な労働条件で、現場での喜びを奪いつつ来ています。

日々安心して 子どもと向き合うため

教職員とその家族の生活を根底から脅かす今回の人件費削減、幾重にもなるその重大な不当性、許せませぬ。を真っ向から否定している。

維新案

- 給与の10%削減。ただし若年層は4%〜8%の削減、管理職12%削減(08年8月)
- 退職金の5%削減、50歳〜54歳の早期退職加算の廃止(08年8月)
- 府立学校の教務補助等非常勤職員の廃止・廃止(09年度)
- 教育専門員の廃止(09年度)
- 非常勤特別嘱託員、若年特別嘱託員、非常勤再任用職員、教育専門員の賃金6%削減
- 非常勤講師の賃金4%削減、効率化をすすめ経費20%削減

府民犠牲押しつけの突破口

「人件費削減は断固認められない」

「第一は、労働基本権制約の代償措置である人事委員の勧告制度をふみかき、公務員の賃金決定原則を真っ向から否定している。」

「私たちの生活を脅かさないでほしい」「働く喜びを奪わないでほしい」。人件費削減の嵐が吹かす中、府民の怒りが噴き出している。

「雇止め」教育専門員 廃止は許されぬ

「雇止め」教育専門員 廃止は許されぬ

府高教臨時教職員部長 小林郁子さん

「賃上げは大変 経済へ悪影響」

大阪府連民部会長 川辺和宏さん

「第一は、労働基本権制約の代償措置である人事委員の勧告制度をふみかき、公務員の賃金決定原則を真っ向から否定している。」

「私たちの生活を脅かさないでほしい」「働く喜びを奪わないでほしい」。人件費削減の嵐が吹かす中、府民の怒りが噴き出している。

「雇止め」教育専門員 廃止は許されぬ

府高教臨時教職員部長 小林郁子さん

「賃上げは大変 経済へ悪影響」

大阪府連民部会長 川辺和宏さん



「重要政策案は、選別と切りすの教育をすすめる習熟度別指導の小学校3年以上、中学校全学年への導入や、一歩の進歩に特色をおいた進路の決定のないう高校の設置など、一歩の進歩を保障する。格差社会を拡大する教育をすすめるようとして、大学受験対策として進路中心にする。進路の拡大、橋下知事は「雇止め」を推進している。府教委に注文をつけた「小中学校への放課後学習」も同様の

橋下「改革」案は、教育の主体となる教職員の人件費や人員削減に強化を主張しているが、その中身は多岐にわたる。競争の激化を促進する「縮小・解体」をねらうものとなっている。公立の高校授業料は年収288万〜430万の世帯に7万円値上げ、年収430万〜540万の世帯に6万円値上げ

「重要政策案は、選別と切りすの教育をすすめる習熟度別指導の小学校3年以上、中学校全学年への導入や、一歩の進歩に特色をおいた進路の決定のないう高校の設置など、一歩の進歩を保障する。格差社会を拡大する教育をすすめるようとして、大学受験対策として進路中心にする。進路の拡大、橋下知事は「雇止め」を推進している。府教委に注文をつけた「小中学校への放課後学習」も同様の

習熟度別授業より 少人数学級を

大阪府立補根中 松井 登さん

友だち、大好きな 学校守りたい

大阪の高校生に笑顔を下す会の会長 大川育美さん

競争の激化と現場の混乱もたらす

府高教書記次長 米山幸治さん

大阪維新プログラム案の概要

- 財政再建
 - ・一般施策経費を245億円削減
 - ・人件費を345億円削減
 - ・私学助成の経常費や授業料補助の助成を削減
 - ・子ども、障害者、ひとり親、老人の4医療の来年度から本人負担増を検討
 - ・国際児童文学館、青少年会館の廃止。ワッハ上方の移転・縮小
 - ・大阪センチュリー交響楽団の補助金縮減
 - ・箕面森町や安威川ダムなど大型プロジェクトはすべて継続
- 重点政策
 - ・35人学級の存続、習熟度別指導の導入
 - ・小中学校で放課後学習の実施
 - ・府立高校のなかに学区をはずした進学指導重点校を設置
 - ・御堂筋のライトアップなど大阪ミュージアム構想
- 府庁改革
 - ・がんばった人が評価される人事制度
 - ・休暇・諸手当の見直し
 - ・互助団体への補助金廃止
- 道州制構想
 - ・市町村向けの補助金の交付金化
 - ・「関西広域連合」の早期実現と大阪の“発展的解消”

VOICE